

# 中国興業

創業以来40年以上培ってきた知見とネットワークを生かし、業容拡大を目指している中国興業。新規取り扱

い商品の拡充を進めるとともに委託・受託加工の案件獲得も積極的に推進している。松本研二社長は「今期はニッケル、モリブデンなど非鉄金属相場の低迷と急激な円高で苦戦したものの、前期の好業績と経費・固定費削減の取り組みが功を奏した。ただし不安定な世界情勢を考えると、来期も予断を許さない」と語る。徹底した固定費削減に取り組みとともに、国内外で販売先・仕入れ先のネットワーク強化に力を注ぐ。

同社の創業は1974年3月。資源有効活用の重要性に着目し、従来なら廃棄されていたものの加工を通じた価値ある商品づくりを目指した。そこで廃触媒やスクラップの回収・再利用を目的として立ち上げた。現在ではレアメタルの国際的リサイクルネットワーク

の構築を通じ、限りある資源の枯渇に対する挑戦を続けている。

基幹事業では、使用済み触媒やスクラップを回収し、ニッケルやコバルト、タンクステン、モリブデン、スズ、亜鉛、銅といった非鉄金属やレアアース、超硬金属、貴金属のリサイクル利用につなげている。このほかりチウムイオン2次電池(LiB)関連スク

ラップの回収購入、ピスマスの地金販売、窯業原料、三酸化アンチモン、チアベンダゾールといった化学工業薬品の取り扱い、焼成・混合・粉碎をはじめとする受託加工など幅広く事業展開している。

「足元の非鉄金属相場はまだまだ厳しいものの今までの固定観念に縛られず工夫して進んでいく(松本社長)考え。機動力を重視しつつ、受託加工では一層の受注拡大を目指す。同時に海外を含め取り扱い品目やネットワークを広げていく方針。」

## 資源の有効活用で存在感